



# Reporter CLI

---

この章では、Service Control Reporter CLI（コマンドライン インターフェイス）を使用して Service Control reporter アプリケーションを実行するさまざまな方法について、構文、スイッチ、およびオプションも含めて説明します。

この章の内容は次のとおりです。

- [Reporter CLI の概要 \(p.8-2\)](#)
- [構文と使用法 \(p.8-2\)](#)

## Reporter CLI の概要

Reporter CLI は、SCAS Reporter GUI の機能を補足するコマンドラインアプリケーションをベースとしています。この CLI は実行可能プログラムとして、または CGI スクリプトとして実行できます。Service Control Reporter CLI は、対応する SCAS Reporter GUI を超える機能性と柔軟性を提供し、サードパーティ製アプリケーションと統合することにより、使用状況および統計に基づく出力の生成が可能です。

## 構文と使用方法

SCAS Reporter は、次の方法で実行できるアプリケーションです。

- **コマンドライン** — コマンドラインバージョンでは、パラメータの入力が受け付けられます。
- **コマンドファイル** — コマンドファイルバージョンは、コマンドラインパラメータの入ったファイルを入力として読み込みます。バッチファイルとして実行できます。
- **起動される実行可能プログラム** — 起動元のアプリケーションにプログラムを埋め込みます。アプリケーションは、SCAS Reporter にパラメータとして渡されるストリングをダイナミックに構築します。

さらに、次の場所から SCAS Reporter を呼び出すことができます。

- **CGI BIN ディレクトリ、ISAPI ブラウザ、および NSAPI ブラウザ** — SCAS Reporter は、CGI BIN ディレクトリからでも、ISAPI または NSAPI 準拠のブラウザからでも呼び出せます。アプリケーションの出力は HTML 形式で返され、ブラウザで表示されます。エラーが検出された場合は、該当するエラーメッセージが表示されます。

## コマンドラインでの使用方法

SCAS Reporter アプリケーションを起動するためのコマンドライン構文は、次のとおりです。

```
reporter { [-r report-id] | [-n report-name] | [-i report-index] }
  -f [report-format] -k key=value -e [CON]
  -l user-name\password@host-machine
  [drive:] [path] <report-filename>
```

## コマンドラインでの構文

SCAS Reporter アプリケーションを起動するときコマンドラインで使用するスイッチは、次のとおりです。

- スイッチ `-f`、`-k`、および `-e` は省略可能です。
- `-r`、`-n`、または `-i` スイッチのうち、いずれか 1 つだけを指定する必要があります。
- その他のパラメータは必須です。

## コマンドライン オプション

SCAS Reporter アプリケーションを起動するときにコマンドラインで使用するオプションについて、次の表で説明します。

表 8-1 SCAS Reporter アプリケーションのコマンドライン オプション

オプション	SCAS Reporter によるアクション	説明
-r <report-id>	report-id を使用してレポートを生成します。	このパラメータは、定義済みのテンプレートを使用してレポートを生成する場合に使用します。
-n <report-name>	report-name を使用してレポートを生成します。	このパラメータは、個人用のテンプレートを使用してレポートを生成する場合に使用します。指定した名前は、保存されているレポート名と照合されます。レポート名には大文字と小文字の区別があります。
-i <report-index>	report-index を使用してレポートを生成します。	このパラメータは、個人用のテンプレートを使用してレポートを生成する場合に使用します。
-f [report-format]	指定したレポートフォーマットで、グラフまたは表としてレポートを生成します。report-format を省略すると、デフォルトのフォーマットが使用されます。アスタリスク付きのフォーマットが、デフォルトです。  表のフォーマット： JPG GIF * HTM  グラフのフォーマット： CSV* HTM XLS	
-k key=value	指定する値で定義済みのキーを上書きします。	
-l user-name\password@hostname	(必須) user-name\password@hostname machine を使用してログインします。	Reporter の実行可能プログラムをホスティングしているワークステーションのユーザ名およびパスワードを使用してください。
<report-filename>	(必須) 出力の転送先ファイル名。	ファイル名がすでに存在する場合、元のファイルが上書きされます。
-e [CON]	出力（メッセージおよびエラー）をエラーメッセージファイルにリダイレクトします。オプションのCONスイッチとしてコンソールウィンドウを使用し、ウィンドウが開いている場合、そのウィンドウにエラーメッセージがリダイレクトされます。	Reporter は Win32 アプリケーションなので、stderr はエラーメッセージファイルにリダイレクトされます。

## コマンド ファイルでの使用法

コマンドファイルから SCAS Reporter アプリケーションを起動するためのコマンドは、次のとおりです。

```
reporter@[drive:] [path] [command-file]
```

## コマンド ファイルでの構文

コマンドファイルから SCAS Reporter アプリケーションを起動するための構文は、次のとおりです。

- 実行可能プログラム名の後ろに、アットマーク (@)、ドライブおよびパス (省略可能)、および入力に使用するコマンドファイルの名前 (必須) を指定します。
- コマンドファイルの行ごとに、レポートを生成するための異なるコマンドを指定します。
- セミコロン (;) で始まる行は注釈行とみなされ、無視されます。
- バックスラッシュ (\) を使用して長い行を分割できます。最終行を除く各行の最後にあるバックスラッシュが連結されます。